

中小企業景気動向調査（県西地区版）

令和6年7～9月期実績と令和6年10月～12月期見通し
 ≪特別調査≫中小企業におけるデジタル化とキャッシュレスへの
 対応について

前期（令和6年 4月～令和6年 6月期 実績）
 今期（令和6年 7月～令和6年 9月期 実績）
 来期（令和6年10月～令和6年12月期 予想）

調査方法

調査日 令和6年9月上旬
 調査地域 小田原市、南足柄市、秦野市、足柄上郡、足柄下郡、中郡
 全調査先数 当庫取引先318社
 調査対象 当庫取引先310社
 （製造業26.8%、卸売業11.3%、小売業16.8%、サービス業18.4%、建設業18.7%、不動産業8.1%）
 有効回答率 97.5%
 分析方法 各質問項目で、「増加（上昇）」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少（下降）」したとする企業の構成比との差（DI・判断指数）を中心にして分析を行いました。

業種別業況天気図（県西地区）

	令和5年 7月～9月	令和5年 10月～12月	令和6年 1月～3月	前期 令和6年 4月～6月	今期 令和6年 7月～9月	来期見通し 令和6年 10月～12月
総 合					↓	↑
製 造 業					↓	↑
卸 売 業					↓	↑
小 売 業					↑	↑
サービス業					↑	↓
建 設 業					↑	↓
不 動 産 業					↑	↓

好調 ← → 低調
 改善 ↑
横這い →
悪化 ↓

業況DIはやや悪化、売上DIは改善、収益DIはやや改善

業況DI



前期比0.9ポイント悪化の▲14.9となり、前回調査時の今期予想DIである▲4.9を下回り、前年同期DIの▲9.9も下回りました。
業種別では小売業、サービス業、建設業、不動産業は改善、製造業、卸売業は悪化となりました。
また、来期については、10.4ポイント改善の▲4.5となる見通しです。

売上DI



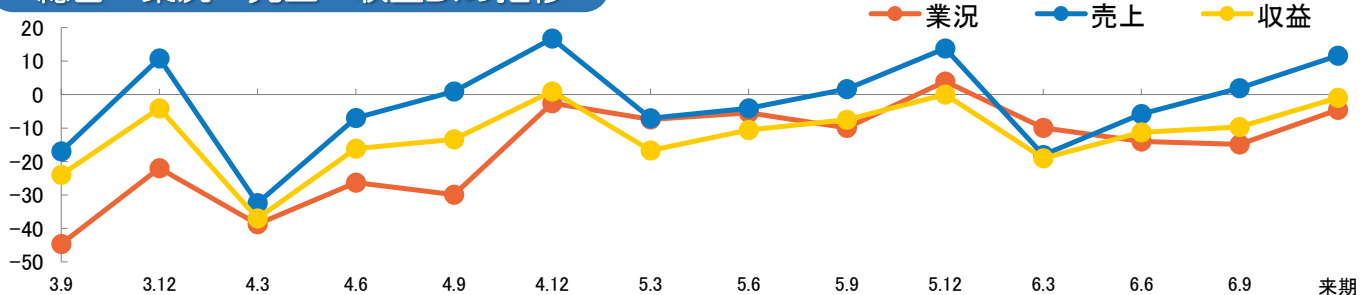
前期比7.7ポイント改善の1.9となり、前回調査時の今期予想DIである5.2を下回り、前年同期DIの1.6を上回りました。
業種別では全業種で改善となりました。
また、来期については、9.8ポイント改善の11.7となる見通しです。

収益DI



前期比1.6ポイント改善の▲9.7となり、前回調査時の今期予想DIである▲2.6を下回り、前年同期DIの▲7.5も下回りました。
業種別では卸売業、サービス業、不動産業は改善、製造業、小売業、建設業は悪化となりました。
また、来期については、8.7ポイント改善の▲1.0となる見通しです。

総合 業況・売上・収益DIの推移



地区別のDI

業況DI・地区別推移

地区	6.6	6.9	(前期比)	来期	(今期比)
小田原中央	▲ 8.7	▲ 19.4	▲ 10.7	▲ 1.6	17.7
小田原川東・中郡	▲ 24.0	▲ 21.6	2.4	0.0	21.6
足柄上郡・秦野	▲ 25.3	▲ 11.8	13.5	▲ 14.9	▲ 3.2
足柄下郡	2.1	▲ 2.0	▲ 4.1	▲ 2.0	0.0

売上DI・地区別推移

地区	6.6	6.9	(前期比)	来期	(今期比)
小田原中央	▲ 3.9	0.8	4.7	12.8	12.0
小田原川東・中郡	▲ 14.0	▲ 2.0	12.0	20.0	22.0
足柄上郡・秦野	▲ 9.5	▲ 2.4	7.2	3.5	5.9
足柄下郡	4.2	16.3	12.2	14.3	▲ 2.0

収益DI・地区別推移

地区	6.6	6.9	(前期比)	来期	(今期比)
小田原中央	▲ 8.7	▲ 13.6	▲ 4.9	0.0	13.6
小田原川東・中郡	▲ 16.0	▲ 6.0	10.0	2.0	8.0
足柄上郡・秦野	▲ 14.3	▲ 16.5	▲ 2.2	▲ 7.1	9.4
足柄下郡	▲ 8.3	8.2	16.5	4.1	▲ 4.1

業況DI推移

業況DIは小田原川東・中郡地区、足柄上郡・秦野地区では改善、小田原中央地区、足柄下郡地区では悪化となりました。
また、来期の業況DIについては、足柄下郡では横ばい、足柄上郡・秦野地区では悪化、それ以外の地区では改善となる見通しです。

営業店のコメント

小田原中央地区

- 円安による原材料高や人件費高騰などコスト高の影響は継続しているが、価格転嫁によるコスト吸収は一通り済んでいる。
- 殆どの業種で仕入価格や光熱費等の高止まりが続き、利幅の確保に苦慮している。

小田原川東・中郡地区

- 半導体部品や自動車部品では、メーカーの在庫調整の影響を受けており、10月以降、受注量が回復する見通しとなっている。
- 人材不足は設備導入等で代替のきかない業界で顕著であり、業界内の横断的対応による抜本的な構造改革が求められている。

足柄上郡・秦野地区

- 材料価格の上昇は継続的に影響を及ぼしているものの、販売価格への転嫁が済んでいる企業も多い。
- 多くの企業で人手不足や材料価格上昇を課題と認識している。

足柄下郡地区

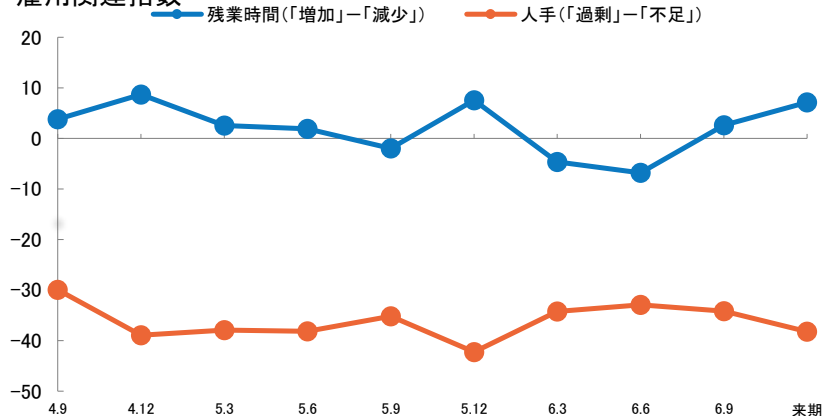
- 今般の台風や地震の影響で一部宿泊業に予約のキャンセルが出たものの、大きな影響には至っていない。
- 売上が増加した企業であっても、原材料価格や人件費の上昇により収益は悪化している先が多い。

雇用

残業時間DIは前期比9.4ポイント上昇の2.6となり、人手DIは前期比1.3ポイント低下の▲34.2となりました。残業時間は増加し、人手不足感は強まりました。

なお、来期については残業時間DIは4.5ポイント上昇の7.1となり、人手DIは4.0ポイント低下の▲38.2となる見通しであり、残業時間は増加し、人手不足感は強まる見通しです。

雇用関連指数

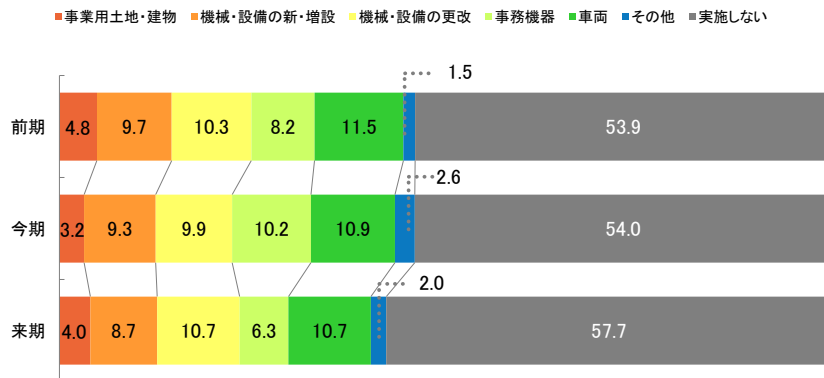


設備投資

今期の設備投資の実施状況については、「事務機器」・「その他」は増加した一方で「事業用土地・建物」・「機械・設備の新・増設」・「機械・設備の更改」・「車両」は減少となりました。なお、「実施しない」は増加し、設備投資意欲は低下しました。

来期の設備投資の実施予定については、「事業用土地・建物」・「機械・設備の更改」は増加となる一方で、「機械・設備の新・増設」・「事務機器」・「車両」・「その他」は減少する見通しです。なお、「実施しない」は増加し、設備投資意欲は低下する見通しです。

設備投資の実施状況(複数回答、単位: %)

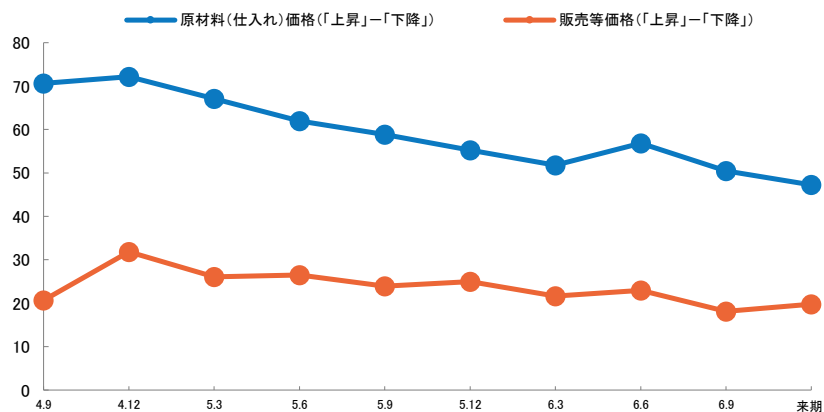


販売・仕入価格

販売等価格DIは前期比4.9ポイント低下の18.1となり、原材料(仕入れ)価格DIは前期比6.3ポイント低下の50.5となりました。

なお、来期については、販売等価格DIは1.6ポイント上昇の19.7となり、原材料(仕入れ)価格DIは3.3ポイント低下の47.2となる見通しです。

価格関連指標

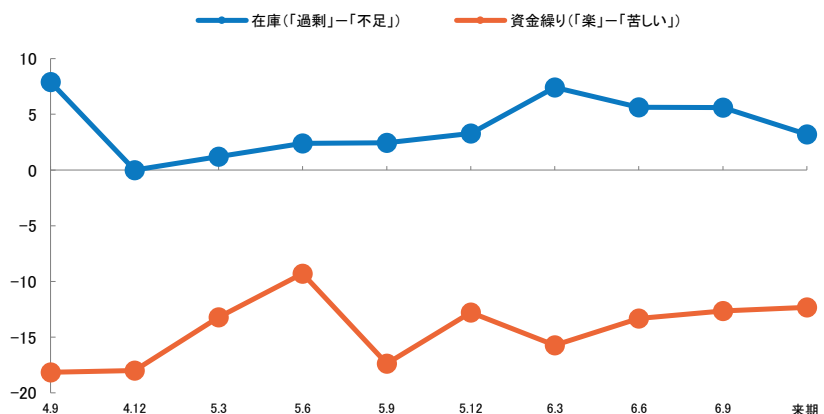


在庫・資金繰り

在庫DIは前期比横ばいの5.6となり、資金繰りDIは前期比0.6ポイント上昇の▲12.7となりました。

なお、来期については、在庫DIは前期比2.4ポイント低下の3.2となり、資金繰りDIは0.4ポイント上昇の▲12.3となる見通しです。

在庫・資金繰り指標



好調←



→低調

改善



横這い



悪化



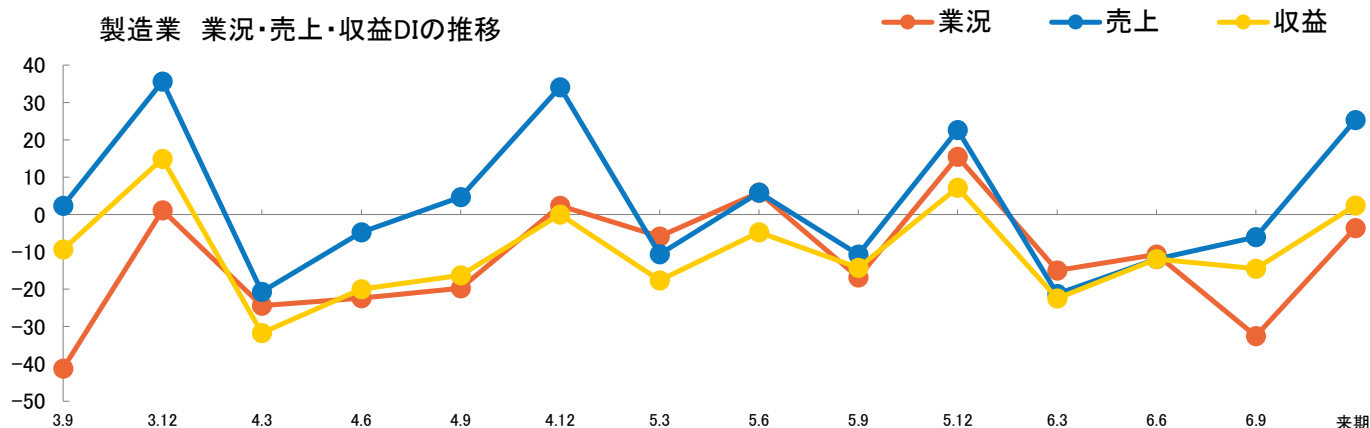
製造業

景況

業況DIは大幅に悪化、売上DIは改善、収益DIはやや悪化

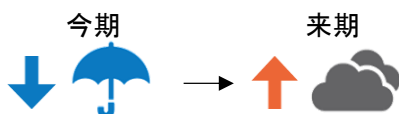
業況DIは、前期比21.8ポイント悪化の▲32.5となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである2.4を下回り、前年同期DIの▲16.9も下回りました。来期については28.9ポイント改善の▲3.6となる見通しです。

製造業 業況・売上・収益DIの推移

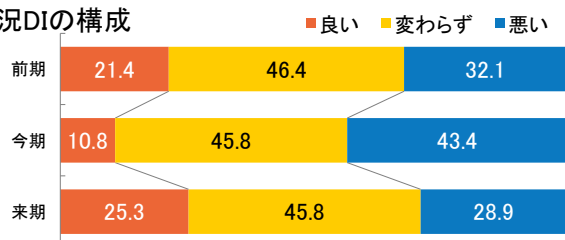


業況・売上・収益DI

業況DI



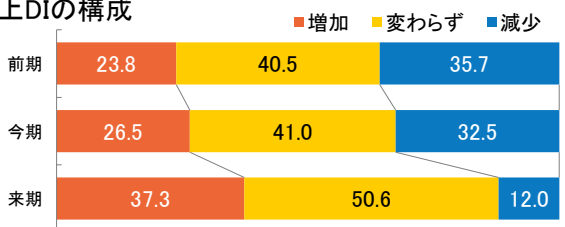
業況DIの構成



売上DI



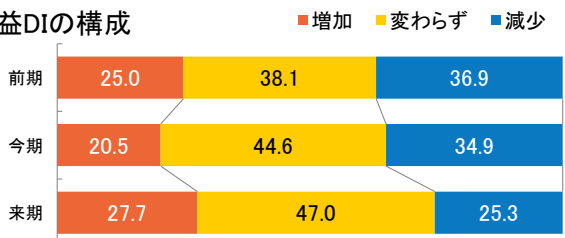
売上DIの構成



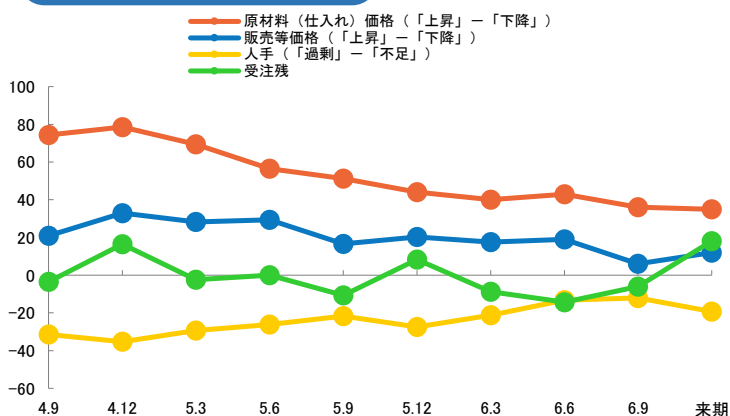
収益DI



収益DIの構成

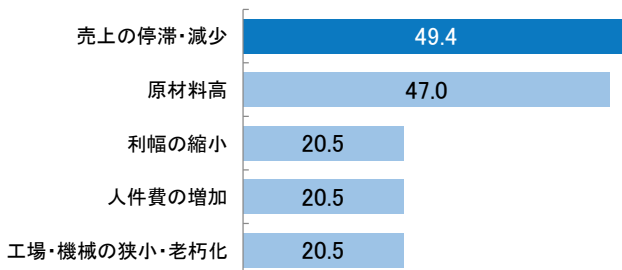


その他の指標推移



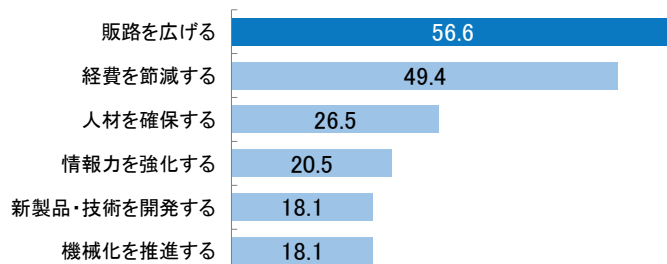
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)

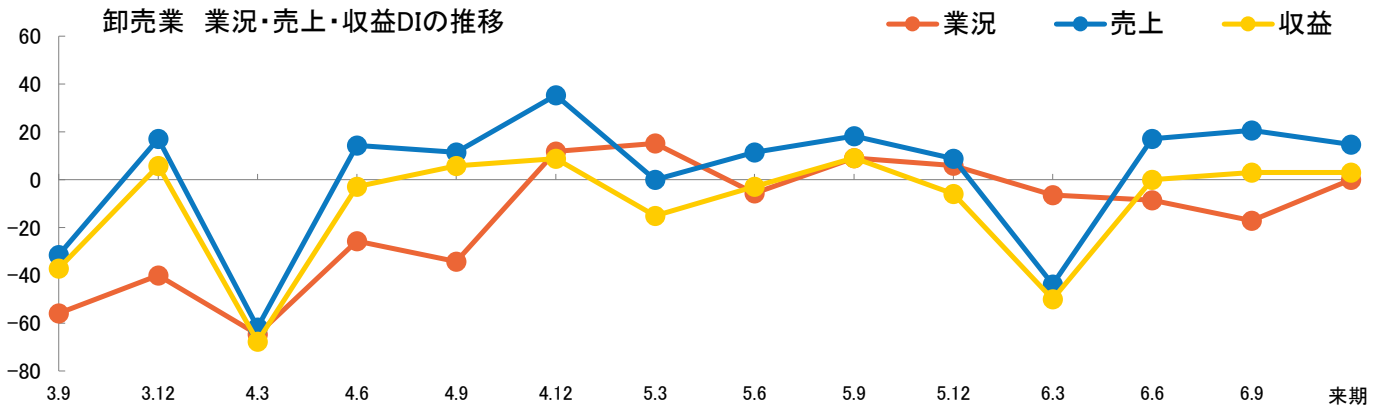


卸 売 業

景 況

業況DIは悪化、売上DIは改善、収益DIはやや改善

業況DIは、前期比8.5ポイント悪化の▲17.1となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである0.0を下回り、前年同期DIの9.1も下回りました。来期については、17.1ポイント改善の0.0となる見通しです。

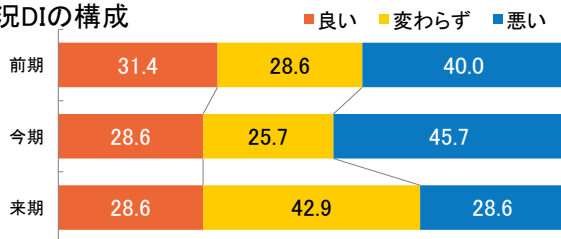


業況・売上・収益DI

業況DI



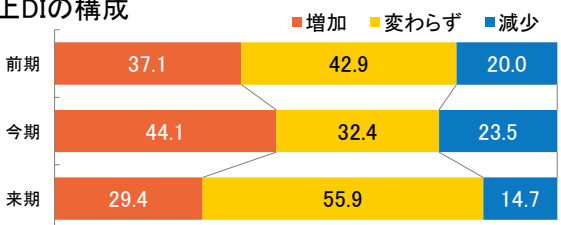
業況DIの構成



売上DI



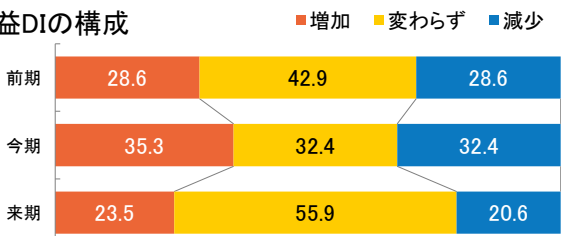
売上DIの構成



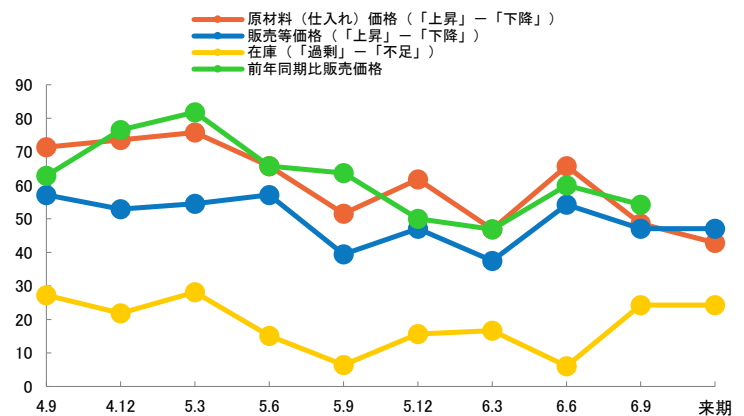
収益DI



収益DIの構成

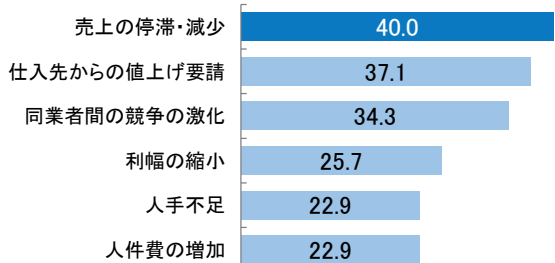


その他の指標推移



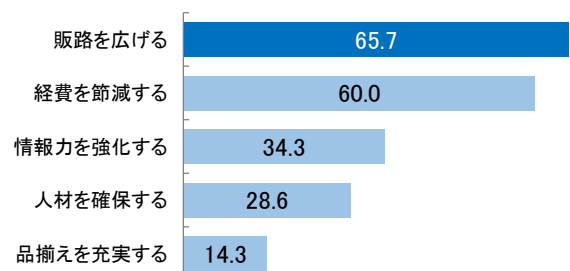
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



好調←



→低調

改善



横這い



悪化



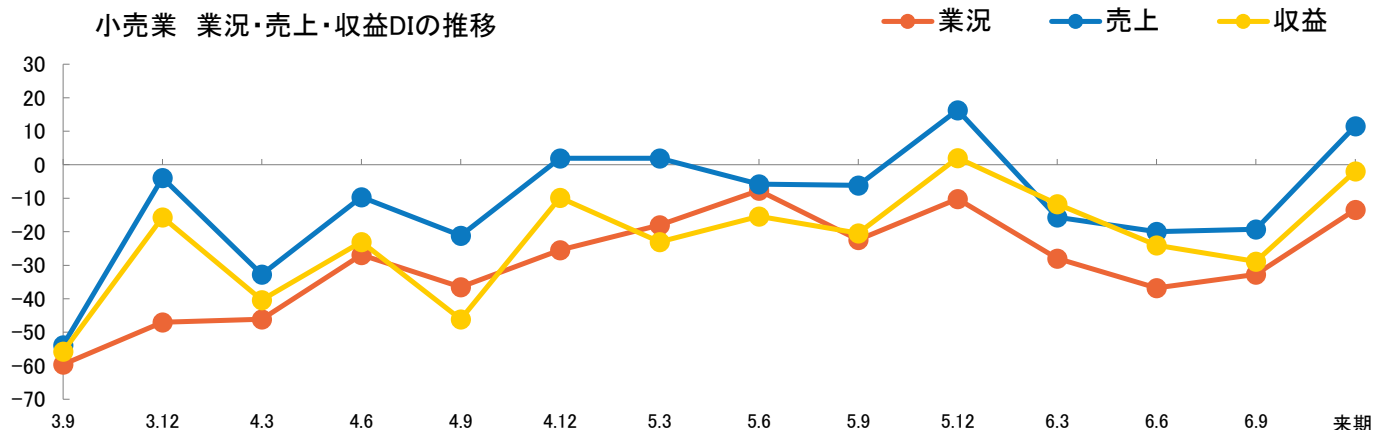
小 売 業

景 況

業況DI・売上DIはそれぞれやや改善、収益DIはやや悪化

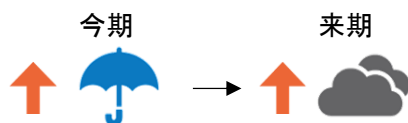
業況DIは、前期比4.0ポイント改善の▲32.7となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲28.6を下回り、前年同期DIの▲22.4も下回りました。来期については、19.2ポイント改善の▲13.5となる見通しです。

小売業 業況・売上・収益DIの推移

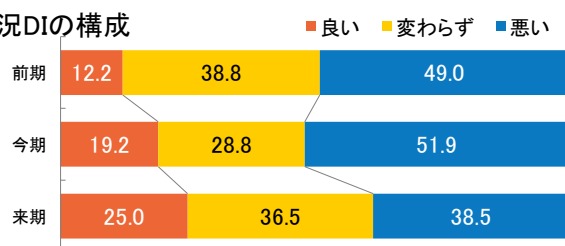


業況・売上・収益DI

業況DI



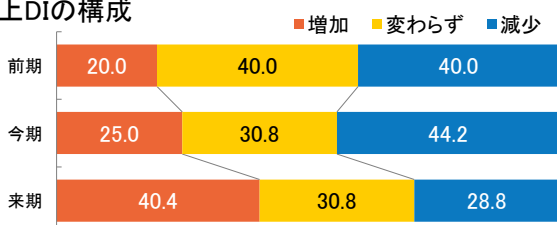
業況DIの構成



売上DI



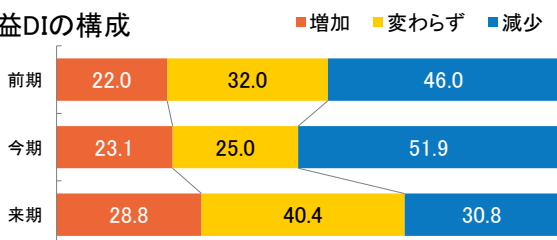
売上DIの構成



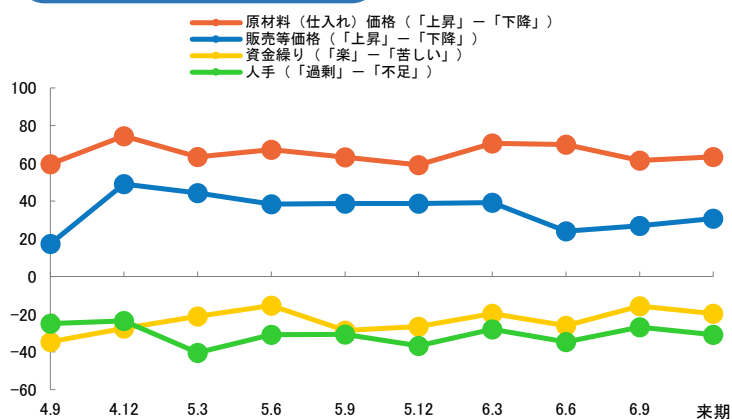
収益DI



収益DIの構成

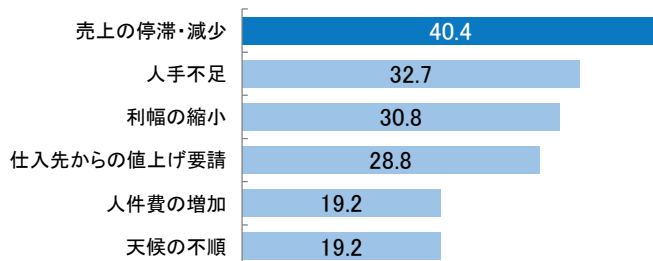


その他の指標推移



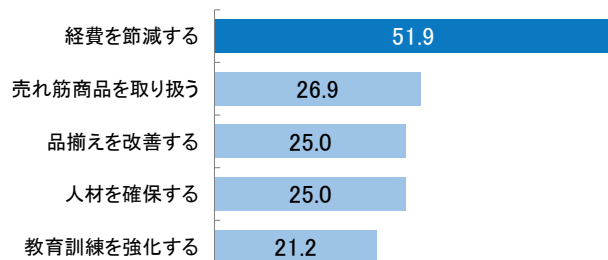
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



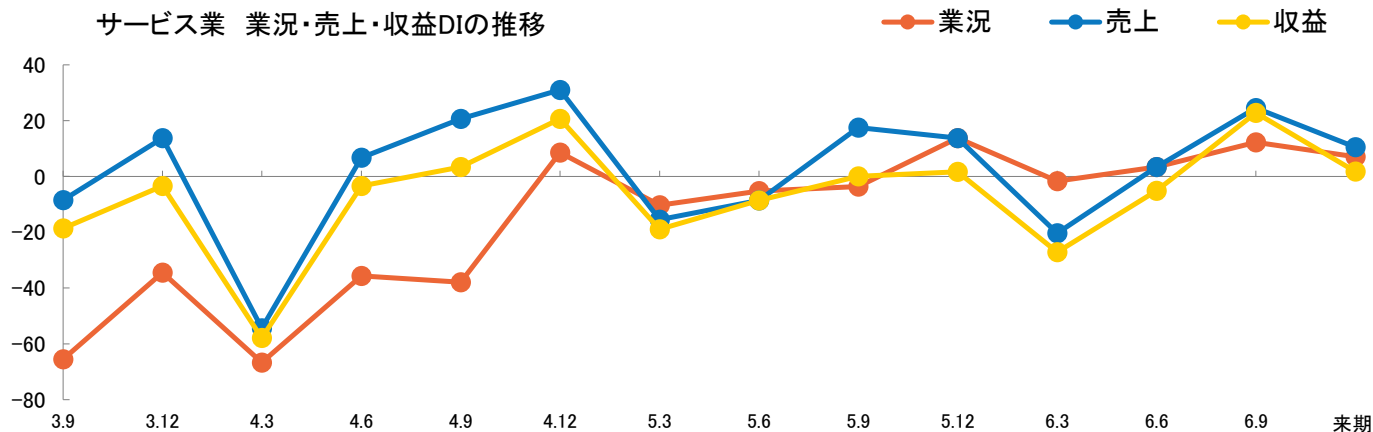
サービス業

景況

業況DIは改善、売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に改善

業況DIは、前期比8.9ポイント改善の12.3となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである12.1を上回り、前年同期DIの▲3.6も上回りました。来期については、5.3ポイント悪化の7.0となる見通しです。

サービス業 業況・売上・収益DIの推移

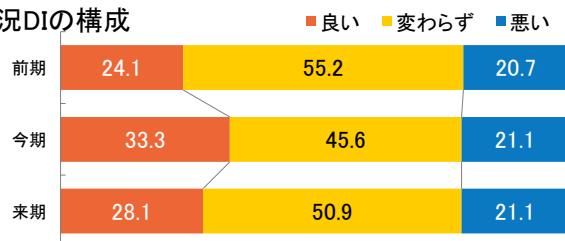


業況・売上・収益DI

業況DI



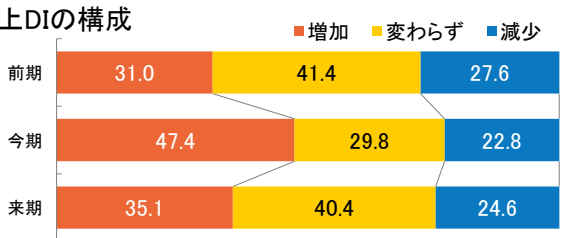
業況DIの構成



売上DI



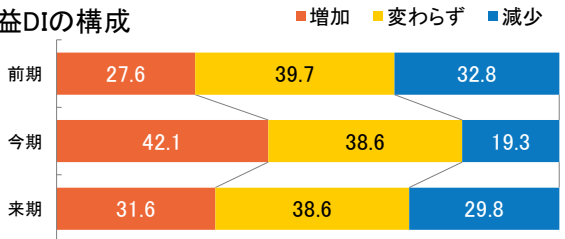
売上DIの構成



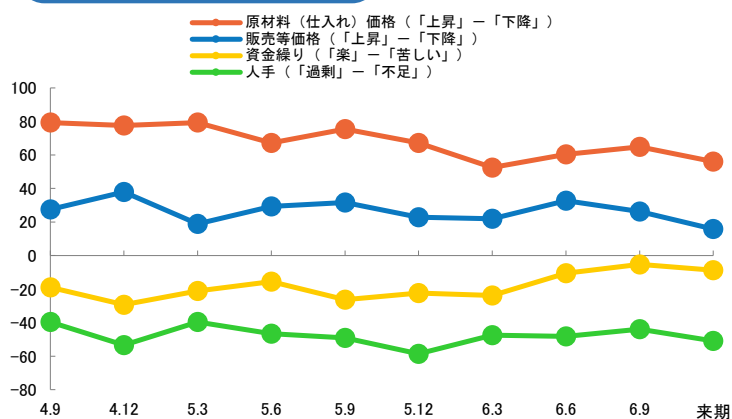
収益DI



収益DIの構成

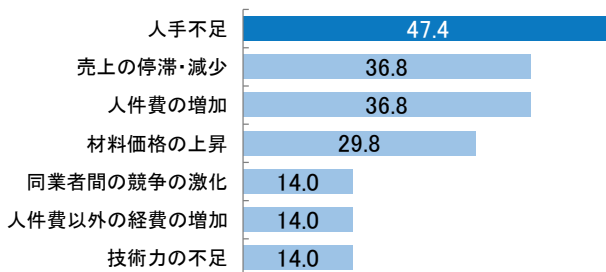


その他の指標推移



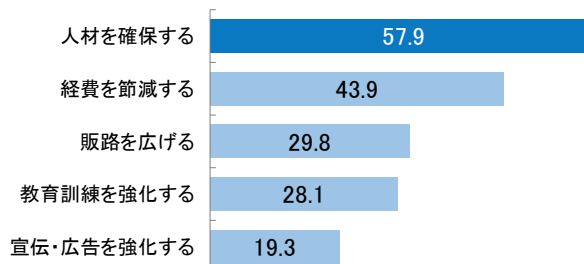
経営上の問題点

（複数回答、単位：％）



当面の重点経営施策

（複数回答、単位：％）



好調←



→低調

改善



横這い



悪化



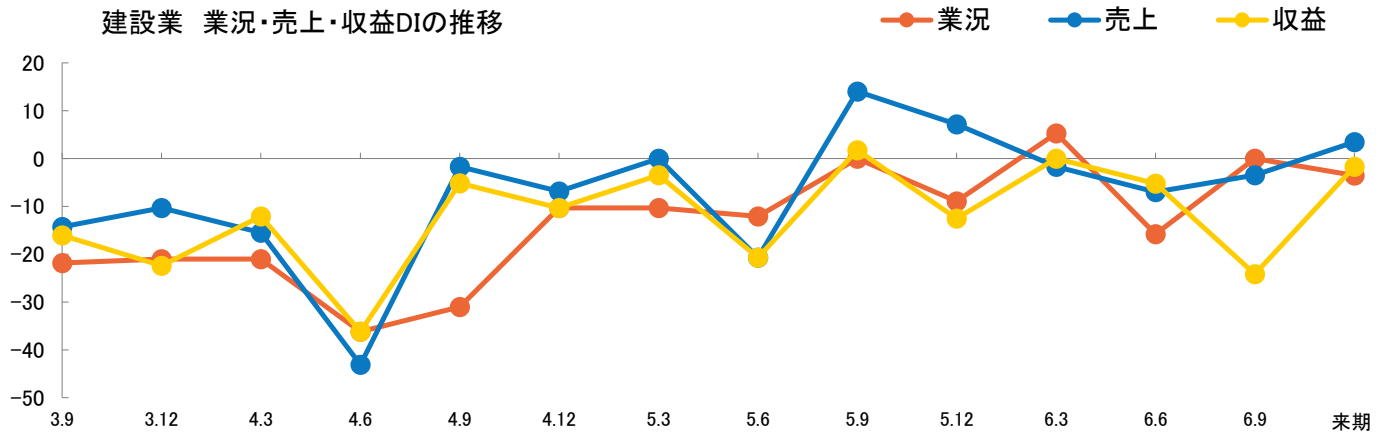
建設業

景況

業況DIは大幅に改善、売上DIは改善、収益DIは大幅に悪化

業況DIは、前期比15.8ポイント改善の0.0となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲10.5を上回り、前年同期DIの0.0に対し横ばいになりました。来期については、3.5ポイント悪化の▲3.5となる見通しです。

建設業 業況・売上・収益DIの推移

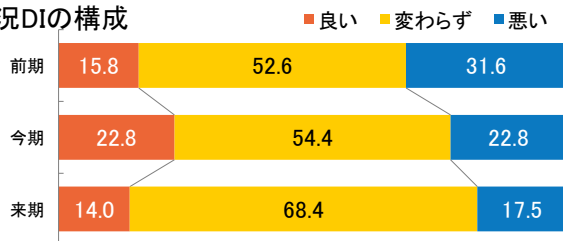


業況・売上・収益DI

業況DI



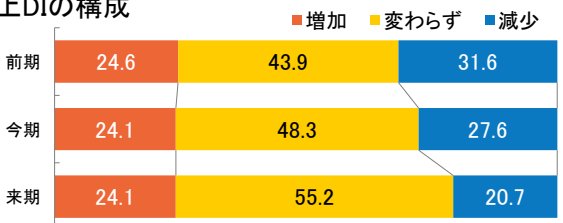
業況DIの構成



売上DI



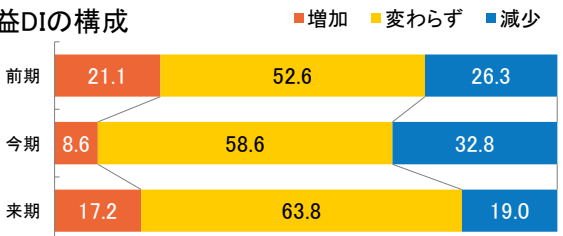
売上DIの構成



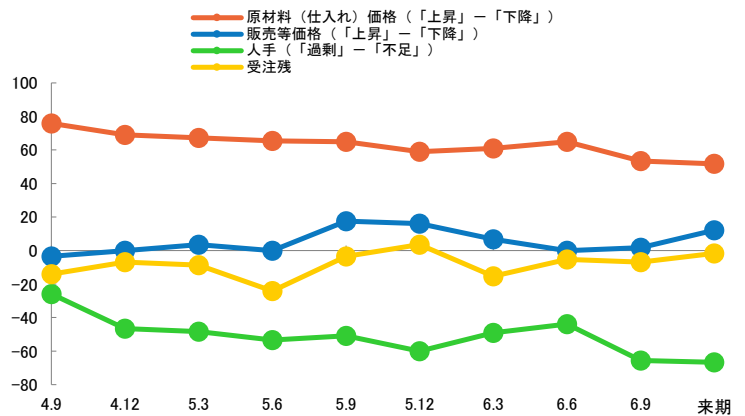
収益DI



収益DIの構成

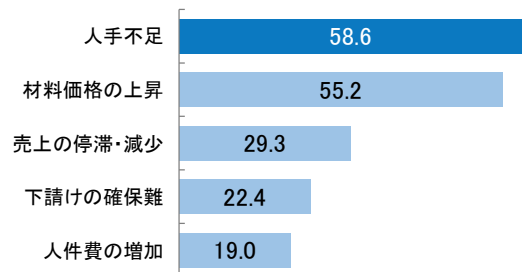


その他の指標推移



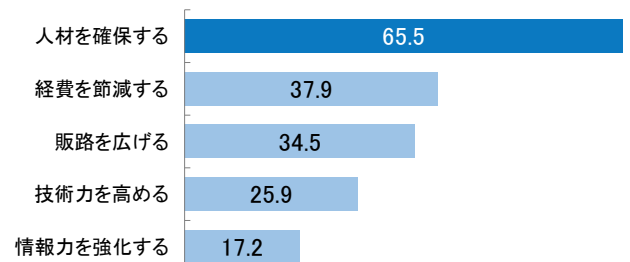
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



好調←



→低調

改善

横這い

悪化



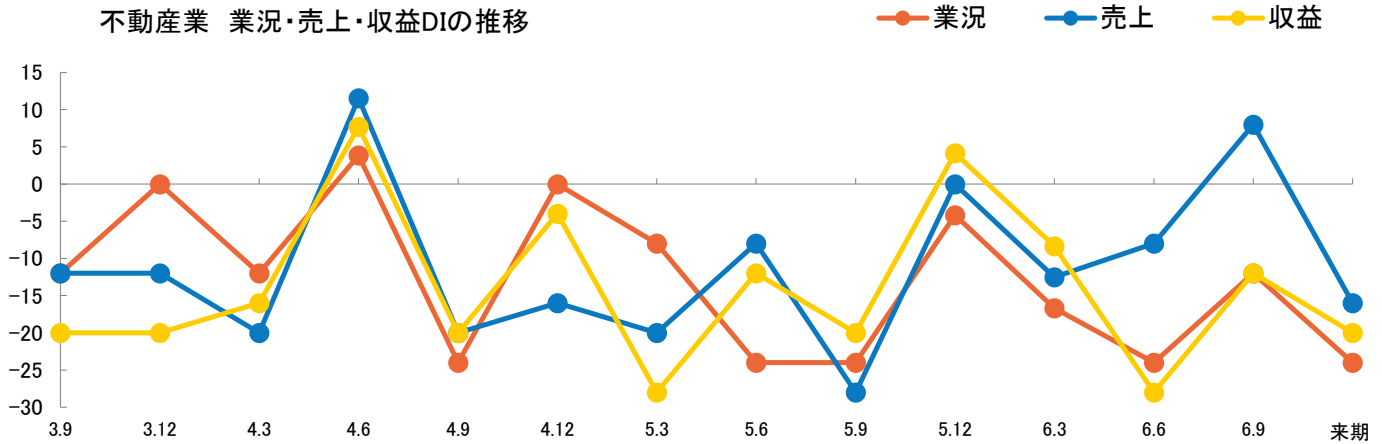
不動産業

景況

業況DI・売上DI・収益DIはそれぞれ大幅に改善

業況DIは、前期比12.0ポイント改善の▲12.0となりました。なお、前回調査時の今期予想DIである▲16.0を上回り、前年同期DIである▲24.0も上回りました。来期については、12.0ポイント悪化の▲24.0となる見通しです。

不動産業 業況・売上・収益DIの推移

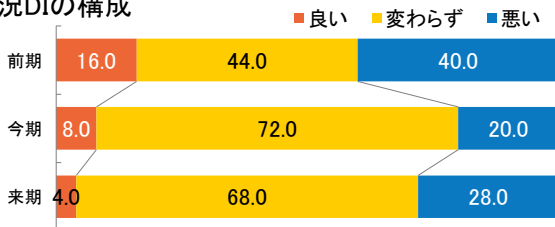


業況・売上・収益DI

業況DI



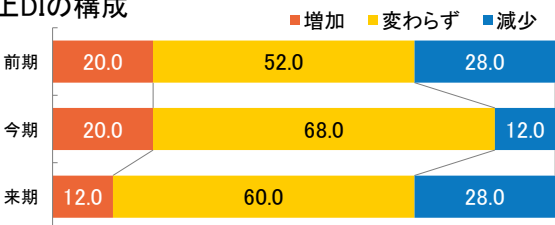
業況DIの構成



売上DI



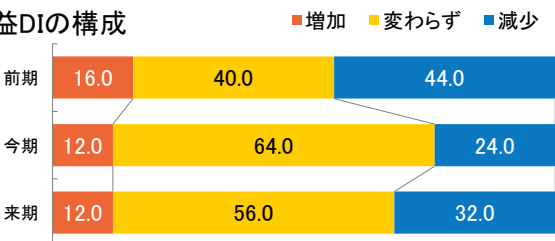
売上DIの構成



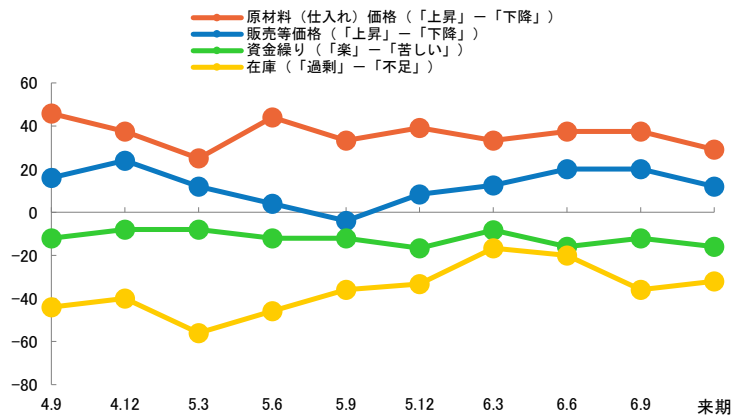
収益DI



収益DIの構成

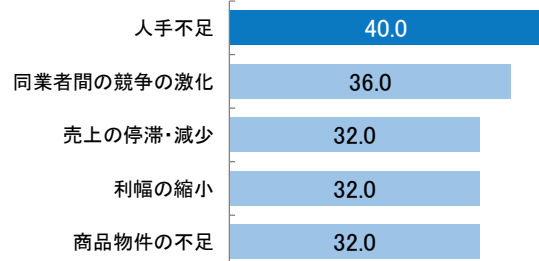


その他の指標推移



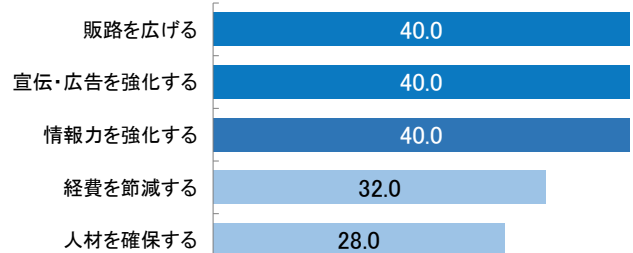
経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



当面の重点経営施策

(複数回答、単位：%)



好調←



→低調

改善



横這い



悪化



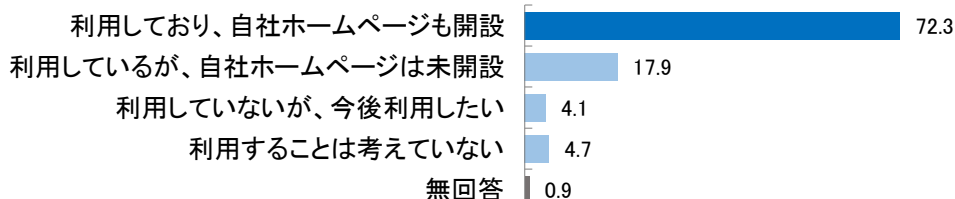
問1

貴社では、事業上の情報収集・情報発信等において、パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用していますか。(1つ回答)

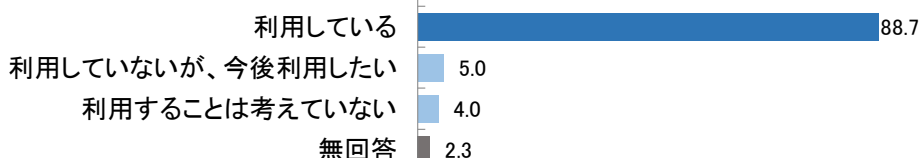
また、同様に事業上で電子メールを利用していますか。(1つ回答)

(単位: %)

インターネットの利用



電子メールの利用

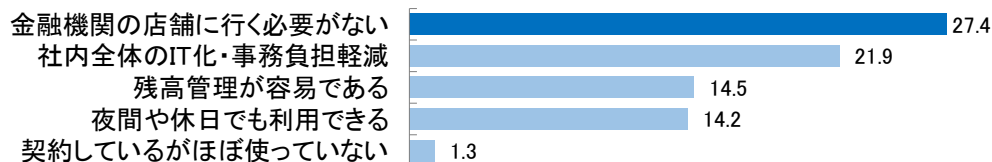


問2

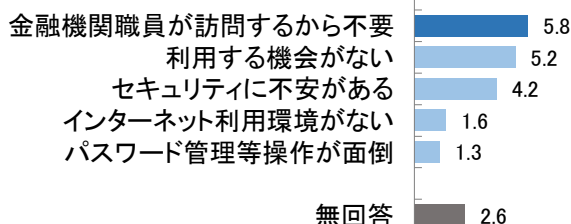
貴社では、インターネットバンキングを契約していますか。契約している方は、契約している主な理由または状況を、契約していない方は契約していない主な理由をお答えください(1つ回答)

(単位: %)

契約している



契約していない



契約している : 79.3%
契約していない : 18.1%
無回答 : 2.6%

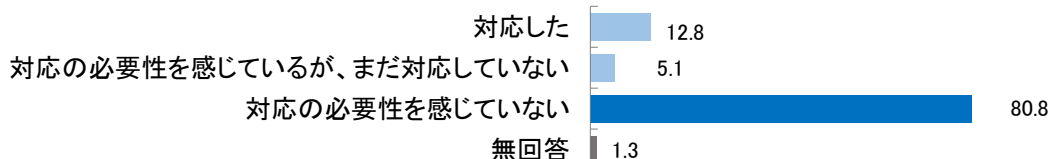
問3

7月に実施された新紙幣の発行に伴い、貴社では何らかの対応(設備投資など)を実施しましたか。(1つ回答)

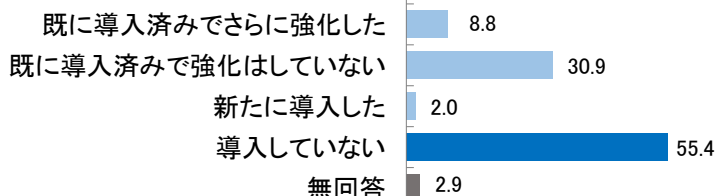
また、新紙幣導入を機にキャッシュレス支払手段の導入または強化をしましたか。(1つ回答)

(単位: %)

新紙幣発行に伴う対応

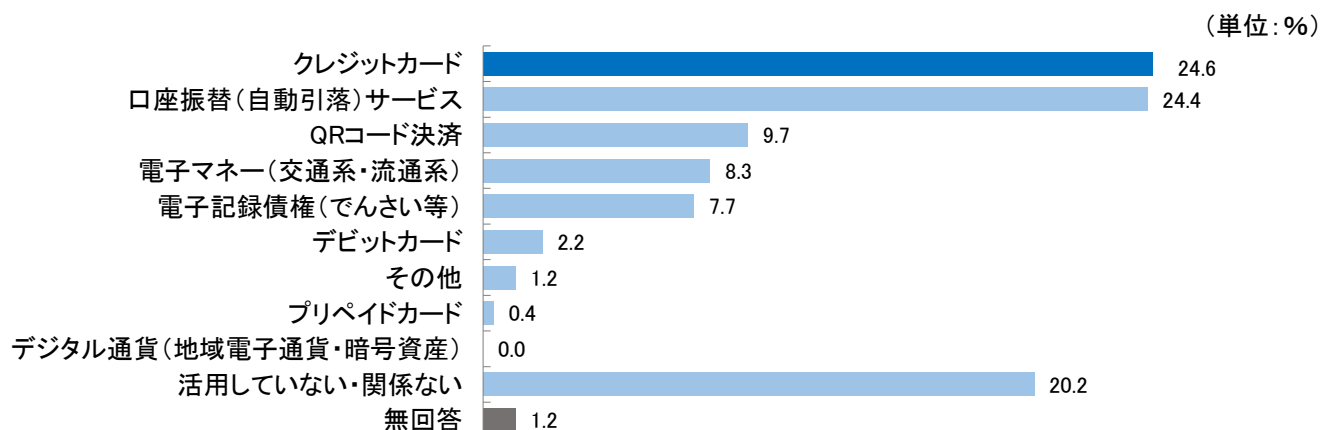


キャッシュレス支払手段



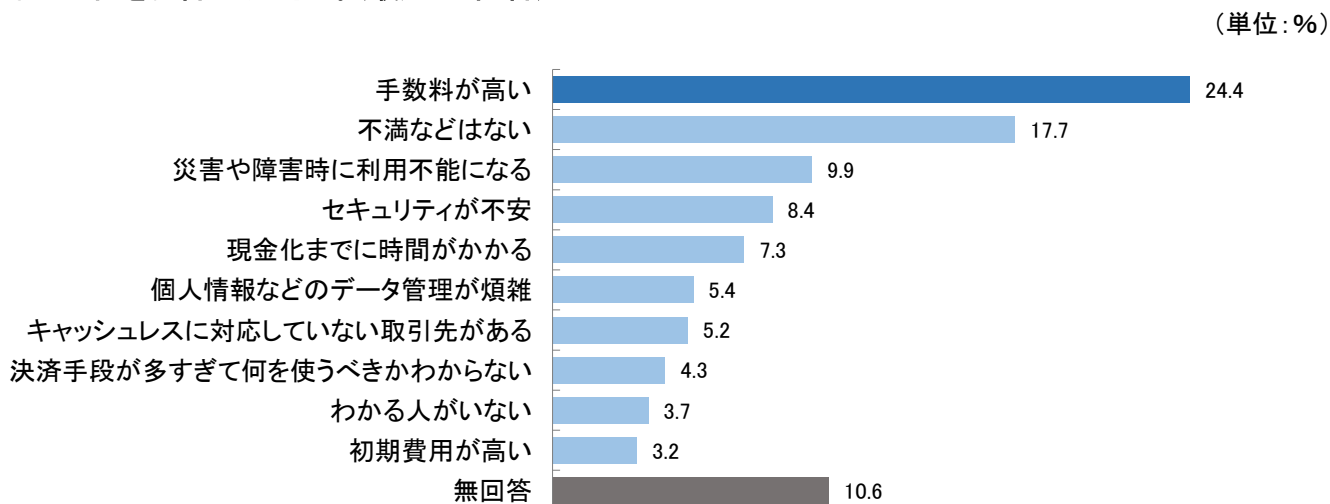
問4

貴社では、取引先や顧客との決済にあたって、現在、どのようなキャッシュレス支払手段を活用していますか。
(主に活用している手段を最大3つ回答)



問5

問4の1～9で挙げたキャッシュレス支払手段について、導入している方は感じている不満を、導入していない方はしていない理由をお答えください。(最大3つ回答)



特別調査に関する営業店のコメント

- インターネットや電子メールの利用状況はほぼ100%と言える水準であり、ホームページについても一定の事業規模を有する企業は概ね開設している。キャッシュレス支払の手段はクレジットカード決済が多く、手数料負担が重いと感じる事業者が多い。
- 全業種共通して、自社ホームページと電子メール、インターネットバンキングの活用をしている。新紙幣発行に伴う設備対応はほとんどの企業が行っており、運営上の支障も無い様子である。取引先との決済手段はクレジットカードと電子マネーが主流であり、コスト負担とセキュリティ面の不安感から導入に至っていないとの回答が多くなった。
- 調査対象の全事業先でインターネット・電子メールを活用している。ただし、デジタルツールを使用した業務環境に移行している先は見受けられるものの、デジタル化による業務効率化やデータ分析に取り組む先、ビジネスモデルの変革等に取り組む先は少ない。
- 一部業種ではデジタル化・キャッシュレス化に対し利便性や必要性は感じているものの、デジタル化への優先度が低く現状に留まっている様子である。

あなたのオフィスで
お金のプロになんでも相談&解決!



お金が
貯まらない…

「NISA」「iDeCo」
って何?



安心して
生活できるお金って
一体いくら?

家を買いたい!
いくら借りられる?



さがみ信用金庫の

お金の相談会

お金の心配ごとをプロに相談しませんか?
知っておくと助かる お金の勉強をはじめましょう!

わかりやすく
お伝えします

＼ どんなご相談も歓迎! 最適なアドバイスをご提供／



- ☒ 将来に向けてお金の運用を始めたい
- ☒ マイホームやマイカーを購入したい
- ☒ ケガや病気など不測の事態に備えたい
- ☒ ライフプランニング
- ☒ 教育資金について
- ☒ 将来の年金について

お取引店舗または営業担当者までご相談ください

さがみ信用金庫

総合企画部

TEL : 0465-24-3162

E-mail : souki@sagami-shinkin.co.jp

バックナンバーは当金庫ホームページをご覧ください

さがみ信用金庫 景気動向調査

検索

さがみ信用金庫ホームページ

URL : <https://www.shinkin.co.jp/sagami/about/keikidoukou.shtml>

